

生活と政治をつなぐ情報紙

# 生活者通信

東京・生活者ネットワーク

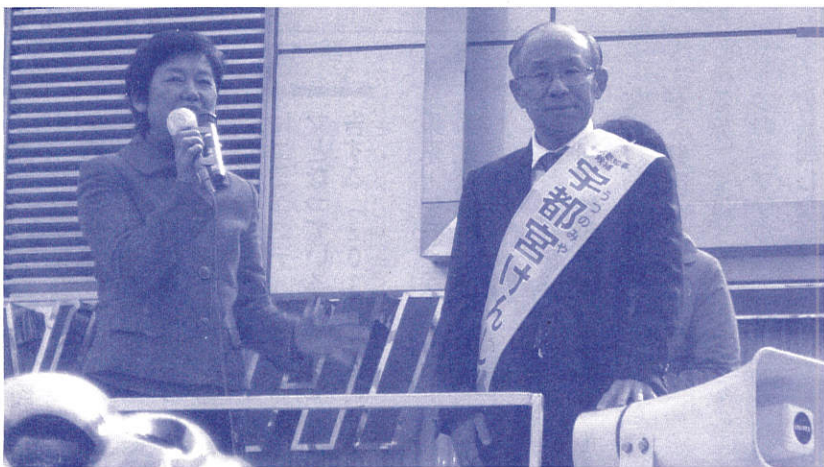
No.256

2013.1.1

※毎月1回1日発行  
※1994年5月23日第三種郵便物認可

昨年12月16日、衆院選と同日投票で行われた東京都知事選。東京・生活者ネットワークは、「脱原発」「人にやさしい東京」を掲げて立候補した前日弁連会長、宇都宮健児さんを「支持」することを決定し、17日間の選挙戦をおおぜいの市民ボランティアや勝手連とともに闘った。しかし、国会が突然解散し、衆議院選挙とのダブル選挙となったあおりを受け都知事選挙は埋没、都政の課題が争点化されることはなかった。

2012年12月7日 東京・生活者ネットワーク



都知事選挙告示日、有楽町マリオン前で第一声には、宇都宮さん支持を表明した政見などが次々と応援に立った。東京・生活者ネットワークからは、代表委員で都議の西崎光子が応援アピール。2012年11月29日

## 東京都知事選挙

# 脱原発統一候補・宇都宮健児さん及ばず

■発行 東京・生活者ネットワーク  
■〒160-0021  
東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル5階  
TEL03-3200-9189 FAX03-3200-9274  
■Eメール tokyo@seikatsusha.net  
■ホームページ http://www.seikatsusha.net  
■発行責任者 西崎光子  
■定価 年間1000円・1部100円  
■郵便振替口座 00130-3-18417

**都** 新記事による2013年度東京都予算大綱発表。外国人支援のための防災訓練（江戸東京博物館・都庁）。

**ネット** ●狛江 DVD「真実はどこに」上映会 1月12日(土) 10:00～12:00 狛江市西河原公民館2階和室 参加費200円 主催:原発とめて!いのちがだいじin狛江  
●府中 講演会「今、福島で起こっていること」1月19日(土) 14:00～ ルミエール府中第1・第2会議室 講師:武藤類子さん 参加費300円  
●東村山 第4回平和の集い 福島原発告訴団・団長武藤類子さんに聞く 今、福島で起こっていること 1月20日(日) 14:00～16:00 東村山市市民ステーションサンパルネ 参加費・資料代:500円 学生・子ども:無料  
●大田・目黒・品川 TPP勉強会第2弾! 1月20日(日) 14:00～17:00 Luz大森4階ホール 講師:鈴木宣弘さん 参加費500円  
●大田 政治塾「年をとった時の住まい方」1月26日(土)18:00～20:00 大田・生活者ネットワーク事務所 講師:三縄浩二さん 参加費300円  
●品川 みんなで語ろう会「子どもに寄り添ったいじめ対策を考えよう!」2月13日(木) 10:00～12:00 品川・生活者ネットワーク事務所

「脱原発」「人にやさしい東京」を掲げて東京都知事選挙に立候補した前日弁連会長、宇都宮健児さんの選挙戦最終日。50余りに広がりをもせた勝手連、市民ボランティアやおおぜいの聴衆が新宿西口を埋め尽くしている。候補者カー周辺の、あちらにもこちらにも手作りのバナーや幟旗がたなびく。フィナーレを飾る勝手連の熱意の応援メッセージが続く。東京・生活者ネットワークからは、都議の西崎光子がメッセージを寄せる。推薦人に名を連ねた脱原発・平和運動や人権運動を担ってきた人たちが「東京を変えよう、生活者の声が届く都政運営をできる人は宇都宮候補だけ」と訴える。

最後にマイクを握った宇都宮さんの「希望都市・東京をつくる」政策提案とアピールに、おおぜいの聴衆が聞き入る。残り2時間を切ったフィナーレの、その時もボランティア市民が各地で最後のピラ撒きや電話かけを主体的に行っている、そういう清々しい選挙最終日…。  
東京・生活者ネットは、脱原発

政策を進める宇都宮健児さんの「支持」を決め、地域の市民とともに17日間の選挙戦を闘った。しかし、石原都政13年半の継承を容認するのか、新しい東京の都市像を展望するのが問われた選挙は、知名度と組織力に勝る猪瀬前副知事の圧勝に終わった。

### 猪瀬新知事誕生 都民の期待に込める 都政運営を

高齢化が急速に進む東京では、高齢単身者、夫婦のみの世帯が急増している。医療・福祉・介護・住まいなど暮らしを支える基本政策を生活者の視点で見直し、地域福祉の担い手である市区町村がその役割を十分発揮できるように自治体やNPO、市民活動支援強化が求められている。

3・11東日本大震災、続く東京電力福島第一原発事故がもたらした放射能の影響は東日本を中心に全国に及び、私たちの暮らしを一変



写真上12月9日多摩センター駅前での遊説  
写真下12月8日土曜日で歩行者天国の銀座に宇都宮さんを応援する弁護士仲間100人などが集まり、パレードで練り歩き

## あんてな

### 僕がワーカーズ・コレクティブ・ピースで働いている理由 門田高明

僕は、普通の人たちと同じ職場で働きたいと希望していたので、高校・専門学校を経てマクドナルドに就職した。「障害手帳」で入社したが、普通の人と同様の効率で働くよう求められ、次第に心と体に限界を感じるようになり仕事を辞めた。

その後、障がい者を雇用している事業所に入ったが、僕の、共に働きたい思いと余りにも違っていて馴染むことができず悩んでいた頃、自分たちで仕事や規則を決めて働くワーカーズ・コレクティブというグループがあることを知った。千葉や大阪のワーカーズを見学し、その人たちの活気に満ちた姿を見て、共に支え

あって働くという僕の理想と重なった。愛媛にもワーカーズがあればいいと思う、同じ志をもつ仲間と「ワーカーズ・コレクティブ・ピース」を立ち上げ1年になる。皆で決めた地域にチラシを配り故紙回収する事業、賛同する議員の議会だよりの配布、依頼された住宅で合成洗剤を使わず石けんなどで清掃をしている。

東京のワーカーズへ見学に行った際「仕事を断ったことはない。やりがいを感じている」と。僕もワーカーズの仕事は休んだことがない。お客さんに「頑張ってる」「ありがとう」と言われることもあれば、故紙の回収忘れがあり「もう来なくていい」と言われることも。でも、自分が何をやるか皆が解り易く教えてくれるのでやりがいがある。僕は、ワーカーズ・コレクティブの輪が世の中に広がり、自分と同じような障がい者と普通の人と一緒に働く場が増えればいいと願っている。

【ワーカーズコレクティブ・ピースメンバー】



▲愛媛県松山市に誕生した障がいがある人もそうでない人も共に働く「ワーカーズ・コレクティブ・ピース」。古紙回収・リサイクル事業に従事する門田さん